

- 今月のこよみ
- 健康増進普及月間 1日～30日
 - 障害者雇用促進月間 1日～30日
 - 自動車点検整備推進運動期間 1日～10月31日
 - 老人保健福祉週間 15日～21日
 - 防災の日 1日 ●下水道促進デー 10日 ●空の日 20日

発行 和歌山県知事公室 広報広聴課

県民の友

主な記事

- 2～3面 おしらせ/同和連載/
拝啓 県民のみなさまへ
- 4面 わかやま北南NEWS/
ネイチャーフレンドシップクラブ/
県政広聴会/和歌山県道路整備促進大会

〒640 和歌山市小松原通1-1 ☎0734 (32) 4111

和歌山県の何よりの財産は、黒潮の海、緑濃い山々、清らかな川、温暖な気候と豊かな土地…。
県内には、そんな和歌山の自然を活かした文化を「生」で体験できる施設

が次々と誕生しています。
中でも、自然の緑に囲まれた中辺路町陶芸館では、町内産の粘土を使って自作の花びんや茶わんなど陶器づくりが楽しめます。



陶器づくりを体験する海外留学生

人と人の輪を広げるわかやま文化!

輝く未来への文化の架け橋 第30回和歌山県民文化祭

今年、「30年、その感動を伝えたい」をテーマに、音楽、演劇、講演、文芸等、様々な催しを県内各地で開催する県民文化祭。
今月号ではメインフェスティバルと10月中旬までの催しをご紹介します。
入場券・整理券などわくわくは、県庁生活文化総務課へお問い合わせください。

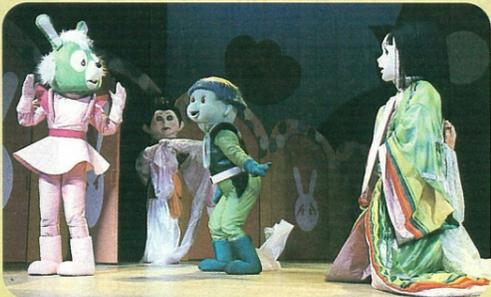
メインフェスティバル公演

市原悦子 語り部の世界(和歌山県の民話の朗読・トークショーなど)
11月8日午後2時～ 県民文化会館
A席 前売3,000円 当日3,500円
B席 前売2,000円 当日2,500円



母と子の名作劇場

●「平成竹取物語かぐやひめ」劇団カッパ座
9月21日午後1時30分～
かつらぎ総合文化会館 無料(整理券)



音楽・演劇など

●けんぶん歴史への招待 熊野を訪ねて
9月13日 講師 吉川壽洋氏
10月11日 講師 安藤精一氏
(※いずれも午後1時30分～)
県民文化会館3階特設会議室 受講料2,500円

●県人形劇フェスティバル第2回巡回公演

9月28日 橋本市中央公民館 無料
10月5日 上富田町市ノ瀬公民館 無料
●県民文化祭30周年記念文化フォーラム I
一部 鈴木健二氏講演「これからは“こころの時代”」
二部 参羽奏演奏会 無料(整理券)
10月2日午後6時30分～ 紀南文化会館



鈴木健二

●文化庁移動芸術祭巡回公演

「アルジャーノンに花束を」新劇(劇団 昂)
原作ダニエル・キイス
10月10日午後6時30分～
上富田文化会館
S席2,000円 A席1,600円

●第34回和歌山県吹奏楽祭

10月12日午後2時～
和歌山ビッグホール 500円

●マンドリンAutumnConcert

10月12日午後1時30分～
有田市民会館 無料

展覧会など

- 第37回県俳画展
9月25～29日午前10時～ 県民ギャラリー 無料
- 第18回和歌山県勤労者美術展優秀作品南紀展
9月27～28日午前9時30分～
新宮地域職業訓練センター 無料
- 民謡の集い
9月28日正午～ 県民文化会館 無料(整理券)
ゲスト 田村雅子氏、山岸紘晴氏
- 県歌人クラブ秋季大会
10月5日午後1時～ 紀南文化会館 無料
- 第44回総合美術展
10月8～12日 和歌山市民会館展示室 無料
- 特別展「戦国合戦図屏風の世界」
10月10日～11月9日午前9時30分～
県立博物館常設企画展示室
一般810円 高校・大学生510円 小・中学生260円



「ジャパンエキスポ 南紀熊野体験博 リゾートピアわかやま'99」開催

平成11年4月下旬から9月下旬までの約160日間、南紀地域を舞台に「ジャパンエキスポ 南紀熊野体験博リゾートピアわかやま'99」を開催し、リゾート・和歌山県の魅力を現地で「体験」していただけるイベントを展開します。

このシンボルマークは、和歌山県の豊かな自然環境(緑は木・森・山、青は川・海・空、赤は太陽)をイメージし、そこを舞台に繰り広げられる南紀熊野体験博を通じて満たされるいきいきとした心、人と自然との共生を表現しています。

平成9年
9月
1(月)
2(火)
3(水)
4(木)
5(金)
6(土)
7(日)
8(月)
9(火)
10(水)
11(木)
12(金)
13(土)
14(日)
15(月)
16(火)
17(水)
18(木)
19(金)
20(土)
21(日)
22(月)
23(火)
24(水)
25(木)
26(金)
27(土)
28(日)
29(月)
30(火)



女性グループの自主活動を支援するためのイベント企画講座

期日 10月24日IIプランから実行までのノウハウ、10月31日II経験者のエピソード、11月7日II企画の実際場所 日赤会館(和歌山市)
対象 県内在住又は通学・通勤の女性30人(多数の場合書類選考)
締切 9月30日
くわしくは県庁女性政策課へ

輝の国女性「地域セミナー」(無料)

対象 それぞれの地方に在住の女性
○海南・海草地方 9月14日・11月頃・1月頃の3日間 海南市民会館他
申込 9月16日～30日
問合せ 海草事務所地域行政室 青少年女性係 ☎(0734)23-9261

○新宮・東牟婁地方 10月18日・11月29日・1月17日の3日間 東牟婁総合庁舎
申込 9月16日～26日
問合せ 東牟婁事務所地域行政室 青少年女性係 ☎(0735)22-8551

再就職希望女性の技術講習会

科目 ワープロ3級(20人)
場所 伊都農村青少年センター(かつらぎ町)
期日 11月6日～12月5日の月々金
申込 9月29日～10月1日に開催場所へ
くわしくは女性就業援助センター ☎(0734)33-1181

岩出紀泉台 宅地分譲

区画 4区画 平均面積 約345㎡
平均価格 約四百五十万円
申込 9月16日～19日に県経済センター6階県土地開発公社へ
くわしくは申込先 ☎(0734)28-1034

環境カウンセラー

環境庁では環境保全について市民・企業へアドバイスする人を募集し

ています。受付は9月1～30日。くわしくは県庁自然環境課へ

11月9日 医科大学公開講座

講義 脳を守る。腎臓病の食事療法。
申込 住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号、相談希望者は内容を記入し、返信用封筒(80円切手貼付宛先記入)同封で10月20日必着で〒640和歌山市九番丁27 医大総務課講座係 ☎(0734)26-8302へ
くわしくは申込先へ

県立五稜病院看護婦(士)

資格 看護婦(士)の有資格者で、昭和33年4月2日以降に生まれた方
定員 1人 締切 9月25日
くわしくは県立五稜病院総務課 ☎(0737)52-3221

健康・趣味 教養等「生きがい講座」

期日 ①10月1・2日 ②10月2・3日
場所 国民年金健康保養センターくまのじ(那智勝浦町) 締切 9月17日
定員 各60人(先着順)
くわしくは県庁国民年金課へ

はまゆう養護学校体験入学

①10月14日II高等部
②10月15日II中・小学部
③10月23日II小学部
対象 来年度、各々の部に入学・転入学が予想される精神薄弱の幼児、児童生徒及び保護者等
くわしくは県立はまゆう養護学校 ☎(0739)47-2115

県青年海外米・メキシコ派遣事業

期間 平成10年2月8～22日
対象 日本国籍を有する県内在住の20歳以上30歳未満の青年13人
費用 17万円 締切 9月30日
くわしくは県庁青少年課、県事務所地域行政室へ

自然観察会「河原の昆虫の観察会」

期日 10月5日
場所 粉河町竜門橋付近の河原
対象 小学生以上20人
くわしくは県立自然博物館 ☎(0734)83-1777

子どもペアカンパ

期日 9月27・28日
会場 紀北青年の家(かつらぎ町)
対象 子ども同士か親子2人1組
定員 20組(先着順)
申込 9月16日午前9時から会場 ☎(0736)22-5530へ
くわしくは申込先へ

第6回グラウンドゴルフ

期日 10月19日 定員 100人(先着順)
会場 潮岬青年の家(串本町)
対象 県内在住の小学生以上
申込 9月16日から会場 ☎(0735)2-0182へ
くわしくは申込先へ

ファミリー海のつどい

期日 10月25・26日
会場 白崎少年自然の家(由良町)
対象 県内在住の小・中学生とその家族15組
締切 9月26日(ハガキ必着)
くわしくは会場 ☎(0738)65-2351

「白崎スイセンの郷」球根植栽会

期日 10月12日(前日宿泊可)
会場 白崎少年自然の家(由良町)
後期スポーツ教室(11月～3月)
場所 県立体育館、県立武道館(ともに和歌山市)
くわしくは県教育委員会保健体育課内県体育協業事業第3係へ

対象 県内在住の方
締切 9月30日(ハガキ必着)
くわしくは会場 ☎(0738)65-2351

シーサイドウォッチング

期日 10月10・11日
会場 潮岬青年の家(串本町)
対象 県内在住の小・中・高校生を含む15家族40人(先着順)
申込 9月17日午前9時から会場 ☎(07356)2-0182へ
くわしくは申込先へ

県文化財センター セミナー開催

期日・場所 ①9月27日II岩出町民俗資料館 ②10月25日II県立美術館(和歌山市)
内容 ①中世末期の根来寺 ②熊野信仰の建築 参加料 無料
くわしくは県文化財センター ☎(0734)33-3843

国際理解講座・語学教室

○国際理解講座 アメリカ編、フランス編、英語通訳の技術向上講座
○語学教室 英会話、フランス語会話、スペイン語会話
くわしくは(財)国際交流協会 ☎(0734)31-4344

教室名	曜日	時間	参加対象	
健康体操	火	10:00~11:30	18歳以上 (高校生を除く)	
リズムダンス	木	10:00~11:30		
卓球	A	10:00~12:00		
	B	14:00~16:00		
バドミントン	A	10:00~12:00		
	B	14:00~16:00		
バレーボール	A	10:00~12:00		
	B	14:00~16:00		
ソフトテニス	A	10:00~12:00		
	B	14:00~16:00		
健康ニュースポーツ	A	18:00~20:00		
	B	16:30~17:30		
バスケットボール	金	16:30~17:45		小1~小6
ソフトテニス	金	16:30~17:45		小4~小6
初級剣道	月・木	16:00~17:00	小学生	
中級剣道	月・木	17:00~18:00	小・中学生	
練成剣道	月・木	18:00~19:00	小・中学生	
中・高学年柔道	月・木	17:00~18:30	小3~小6	
フェンシング	月・木	16:30~18:30	小・中・高校生	
レスリング	火・金	16:30~18:30	小・中・高校生	
なぎなた	火	16:30~18:00	小・中学生	
新体操	火	16:30~18:00	小・中学生	

「部落差別」について

新宮市 近畿大学附属新宮高等学校二年 久保宗隆



この連載は、県同和委員会が毎年募集する同和運動啓発作文の入選作品を掲載しています。子供たちがそれぞれの生活の中で素直に見つめた「人権」へのまなざし。私たち大人への呼びかけです。(平成八年度入選作品)

「部落差別」という言葉を初めて聞いたのはいつだったか。たぶん小学校の高学年くらいだったと思う。そのころの私といえば、「差別」という言葉を聞くと、「人種差別」や「男女差別」などしか頭になかった。自分のもっとも身近な場所である自分自身も存在したという事実が大変なショックを受けたのを今でも憶えている。

この「部落差別」は江戸時代から始まり、現在に至る何百年もの間、人々の心の奥深くに根強く残ってきている。部落出身であるというだけで、差別され、学校に行けなかったり、就職ができなかったり、結婚を反対されたりと、産業・就労面、教育面かなりの差別がみられる。しかし、今では、長年の環境改善を中心とした同和対策事業の結果、道路や住宅等、目にみえる物的環境の面で大幅な改善がみられてきた。だが、こうした経済面以上に、人々の心の中に残っている部落出身の人々に対する偏見など、目に見えにくい心理的な差別がまだ残っていると思う。これは部落差別をなくす上での最も注目すべき点である。

では、この「部落差別」をなくすにはどうしたらよいのか。現在、市民の同和・人権問題に対する関心・意識はかなり上がってきている。市としても毎月のように学習会を開いている。私も学校の同和LHRなどで、かなり知識が増えたと思う。しかし、私にはいつも疑問に思うことがあった。それは、「同和問題を勉強する必要がどこにあるのか」ということである。

このように、部落差別をなくすためには、ちゃんとした知識を持つことが必要である。確かに、表面的には部落は解放され、差別は削減したと言われているが、決して根絶した訳ではない。今でも間違った知識のために傷つけられている人達がいるというのを忘れてはならない。そのために私たちに求められることは、事実を認識し、ちゃんとした知識を持つことである。このことは私たちに十分できることであり、やらなければならないことである。願わくば、一刻も早く差別が根絶される日が来てもらいたい。

わかやま北南 NEWS



和歌山の農業情報の発信基地 園芸技術研修館

御坊市の県暖地園芸センターに園芸技術研修館が完成しました。2階建ての同館は、1階に120人収用の研修室、2階には土壌肥料、葉分析や栄養診断法の研究を行う分析実習室や新品種、新栽培技術の紹介やネットワークサービスの提供を行う資料情報室などがあります。

同館は、中核農家、農業後継者への技術指導や新技術の普及拠点となるほか、生産者の皆さんへの情報交換の場として活用されます。くわしくは県暖地園芸センター☎(0738) 23-4005へ。



(御坊市)

住民の憩いの場が続々完成 いわで御殿、駅前ライブラリー

徳川吉宗公ゆかりの地、岩出町内に、いわで御殿が完成しました。地域住民の交流の場、また、入浴・研修や健康・レクリエーションの場として気軽に利用できる施設です。利用時間、休館日などくわしくはいわで御殿☎(0736) 61-1122へ。

南部川村うめ振興館

駅前ライブラリー



いわで御殿

人と人とのふれあいの場、また情報収集や学習の場として広く活用できます。地下は、ライブラリー利用者専用、1階には、一般の方が利用できる自転車駐輪場があります。くわしくは駅前ライブラリー☎(0736) 61-1175(右出町)8へ。

催し

県植物園緑花センター ☎(0736) 62-4029

- 園芸教室 「秋の原色押花の作り方」
 - 花の押し方まで 9月21日
 - 作品の仕上げ 9月28日
 - 「庭木の剪定と手入れ」10月5日
- ハスの花の写真展 9月6～28日
- 木工作品展 10月4～12日

県立近代美術館 ☎(0734) 36-8690

- マリノ・マリーニ展 10月4日～11月3日
- 休館日 月曜日(祝日・振替休日の場合は翌日)

県民文化会館 ☎(0734) 36-1331

- 文化講演会 10月3日 午後2時～ 小ホール
- 講師 市田ひろみ氏(服飾研究家)
- ※入場整理券があります。

紀南文化会館 ☎(0739) 25-3033

- 第26回 吹奏楽祭 9月23日

片男波公園 万葉館 ☎(0734) 46-5553

- 「越中万葉展」～富山県高岡市万葉歴史館移動展～
- 期間 9月21日～11月24日
- 休館日 月曜日(ただし11月3・24日は開館し、翌日が休館)

お気軽にどうぞ

- 交通事故相談
 - [常設相談] 月～金曜日(東牟婁県事務所は水曜日を除く)
 - 場所 県庁交通事故相談所、東牟婁県事務所
 - [弁護士による相談] ●県庁交通事故相談所 9月16日、10月6日 受付 午後1～2時 ●東牟婁県事務所 毎月第1、3金曜日 受付 午前9時～正午
 - [巡回相談] ●伊都県事務所 9月24日 ●西牟婁県事務所 10月8日 受付 午後3時まで
- 県民相談
 - [常設相談] 月～金曜日 場所 県庁県民相談室、各県事務所
 - [弁護士による相談] 毎月第2、4金曜日 場所 県庁県民相談室 受付 午前9～11時
 - [移動相談] ●古座川町 明神生活改善センター 9月18日 ●粉河町役場 9月29日 ●上富田町 大谷総合センター 10月2日 ●かつらぎ町 笠田東町民会館 10月9日 受付 午後1～3時
 - ※くわしくは☎(0734) 41-2359(交通事故相談)、☎(0734) 41-2356(県民相談)へ

道路整備の早期実現をアピール 東京で和歌山県道路整備促進大会

県では、道路整備を県政の最重要課題として、近畿自動車道紀勢線及び、京奈和自動車道の早期整備、紀淡連絡道路の早期事業着手、県内の国道・県道・市町村道等の整備促進に取り組んでいます。

そこで、平成10年度から始まる新たな道路整備五箇年計画策定に向け、本県の道路建設の重点的な促進を図るため、和歌山県道路整備促進大会を東京で開催しました。

大会では、主催者の西口知事の挨拶のほか、地方の生の声を東京でという趣旨から、県ホームヘルパー連絡協議会の奥河孝子さんをはじめ、北山中学校の生徒たちによる意見発表なども行われ、和歌山県民の道路整備に対する熱い思いを国に対してアピールしました。



那賀で「動く県庁」開催 ～より開かれた県政を推進するため～

西口知事が、県内各地で県民の皆さんとともに、地域での課題、未来づくりなどについて意見交換を行う「あすのふるさと～みんなで考え、みんなで語ろう～」県政広聴会が7月27日那賀総合庁舎で開かれ、公募した地元の方々や「交通体系の整備」、「高齢者対策」をテーマに約2時間にわたり討論を行いました。

県側からは知事のほか関係部長・関係各機関の長らが出席し、皆さんからのご意見・ご提言に対し、くわしい説明・回答を行いました。

また、来賓の県議会議長、那賀郡選出県議会議員、那賀郡内各町長・町議会議長らも熱心に聴き入っていました。



喜の国に咲かそう長寿の大輪を 平成9年度「喜の国いきいきフェスティバル」

- 9月には「喜の国いきいき長寿月間」です。
- 開催日時 10月13日 午後1時30分～4時
- 開催場所 県民文化会館大ホール(和歌山市)
- 講演 ○講演 「豊かな人間関係と輝き続ける自分を」竹田眞理子氏(和歌山大学教授)
- 「私流楽しい生き方」朝丘雪路氏(女優)
- 長寿パネル展、介護機器の展示等
- ※入場無料(整理券不要)
- くわしくは県庁長寿社会推進課☎(0734) 41-2520へ。



CANDO WAKAYAMA
感動わかやま21
県民の集い開催

デュークエイセスの記念コンサートがあります。

日時 10月20日 午後6時30分

場所 県民文化会館(和歌山市)

参加費 3,000円

(※この収益は、「感動わかやま21」の活動に役立てられます。)

くわしくは県庁県民生活課内感動わかやま21県民会議へお問い合わせください。

ネイチャーフレンドシップクラブ会員募集

あなたも宣言してください！
一、一袋ごみ持ち帰り運動の実践。
一、野に咲く花・草木の乱獲防止。

県では、ネイチャーフレンドシップ運動を発展させるためにネイチャーフレンドシップクラブを結成し、現在、その会員を募集しています。参加資格、年齢、性別は問いません。「ネイチャーフレンドシップ運動」を実践していくことを宣言できる方(個人、法人)なら、どなたでも歓迎。会員は会報誌を通じて、エコロジー情報、イベント情報やエコグッズが入手できます。会費は無料です。どしどしご入会ください。お問合せ・お申込みは、〒640-85 県庁自然環境課内ネイチャーフレンドシップクラブ事務局☎(0734) 41-2779へ。



防災 和歌山

和歌山県総務部消防防災課
〒640和歌山市小松原通1-1
☎ 0734-41-2262

vol.2

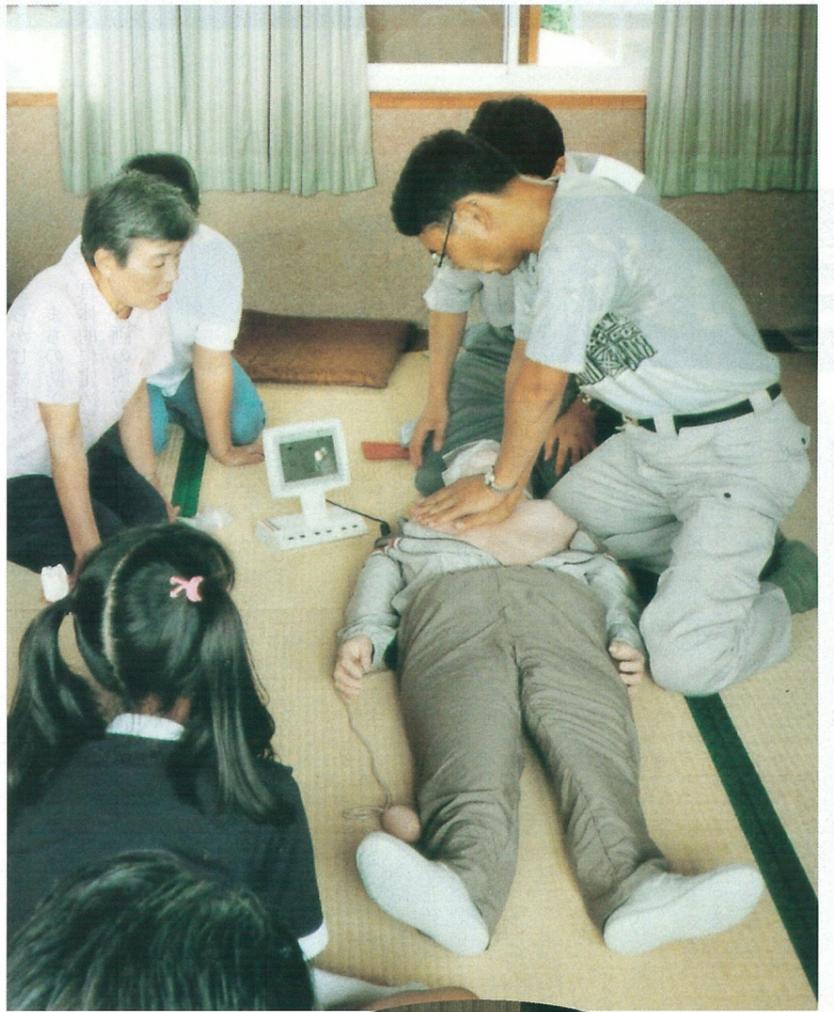
自分たちのまちは 自分たちで守ろう

自主防災組織

第一線の防災機関である消防機関は、災害に備えて機能強化を図っています。しかし、たとえば、大地震などの発生によって、電話の不通、道路の不通、火災の同時多発、水道管の破損などの悪条件が重なると、消防機関の消火活動や救急救護活動は、その機能を十分に果たせなくなり、災害を受けた地域のすべてを救うことができないことも考えられます。

このような事態に直面したときに、消火活動・救出救護活動・避難活動などを行えるのは、被災地の住民のみなさんのほかにはいないのです。

みなさん自身が、そのような防災活動を行うための組織が自主防災組織です。



自主防災組織の
訓練風景(新宮市)



自主防災組織

自主防災組織の作りかた

自主防災組織を作るには、次のような方法が考えられます。

- ①町内会等に防災部を設置している場合などのように、すでに自主防災組織と類似した組織がある場合には、その組織の活動の充実、強化を図ります。
- ②町内会等があっても、特に防災活動を行っていない場合は、町内会活動の一環として防災活動を取り入れていきます。
- ③町内会の組織がない場合には、地域で何らかの活動を行っているさまざまな団体、グループの話し合いの場を通じ、その組織をうまく利用して自主防災組織を整備していくことが近道です。

市町村や消防署の指導を受けよう

住民のみなさんによる防災活動は、市町村や消防署が行う防災活動と一体となつて、はじめて効果をあげることができ

- るわけですから、「自主防災組織を作ろう」と思ったら、ぜひ、市町村の防災担当課あるいは消防署まで連絡してください。市町村や消防署では次のような指導をします。
- ①防災組織のつくりかたおよび任務分担に関すること
 - ②防災知識の普及に関すること
 - ③防災訓練の実施に関すること
 - ④情報の収集・伝達に関すること
 - ⑤出火防止、初期消火に関すること
 - ⑥救出救護に関すること
 - ⑦避難誘導に関すること
 - ⑧給食給水に関すること
 - ⑨防災資機材等の備蓄および管理に関すること

自主防災組織の防災計画

地震などの災害が発生したときに、すばやく、能率よく防災活動を行って、自分の家族や隣近所の人達の生命・財産を守ることができるよう、自主防災組織として、あらかじめ自分たちのまちの防災計画を作っておく必要があります。

まちの防災計画を作るときは、日ごろの活動や災害時の活動方法をできる限り具体的に定めておくことが大切です。

計画の内容は、市町村や消防署とよく相談し指導を受けながら決めていきましょう。

これは主として地震を想定した、まちの防災計画のあらましです。これを参考に、具体的に自分たちのまちの防災計画をつくりましょう。

1 目的

防災計画は、〇〇地域の自主防災組織の防災活動に必要な事項を定め、地震その他の災害による人的、物的被害の発生およびその拡大を防止することを目的とする。

2 計画事項

- ①防災計画に定める事項は次のとおりとする。
- ②防災組織の編成および任務分担
- ③災害発生時の応急活動を迅速かつ効果的に行うため、自主防災組織の長の下に各班を編成する。
- ④情報班：情報の収集・伝達
- ⑤消火班：消火器等による消火
- ⑥救出救護班：負傷者の救出救護
- ⑦避難誘導
- ⑧火災の延焼拡大等により、住民の生命に危険を生じ、または

気象情報を正しく理解するために

台風の大きさと強さ

「大型で強い台風」などとニュースでよく聞きます。これは台風を便宜上、分類したものです。「小型」とか「弱い」とも言い表しますが、だからといって「たいしたことはない」というものではありません。台風とはもともと秒速17.2m以上の風が吹きまくる低気圧のことだからです。

台風の大きさの分類

程度	1000hPa等圧線の半径	風速25m/s以上の半径(参考)
ごく小さい	100km未満	
小型(小さい)	100~200	100km前後
中型(なみ)	200~300	200〃
大型(大きい)	300~600	300〃
超大型(非常に大きい)	600以上	400またはそれ以上

台風の強さの分類

階級	中心気圧	最大風速(参考)
弱い	990hPa以上	25m/s未満
なみの強さ	960~989	25~34
強い	930~959	35~44
非常に強い	900~929	45~54
猛烈な	900未満	55以上

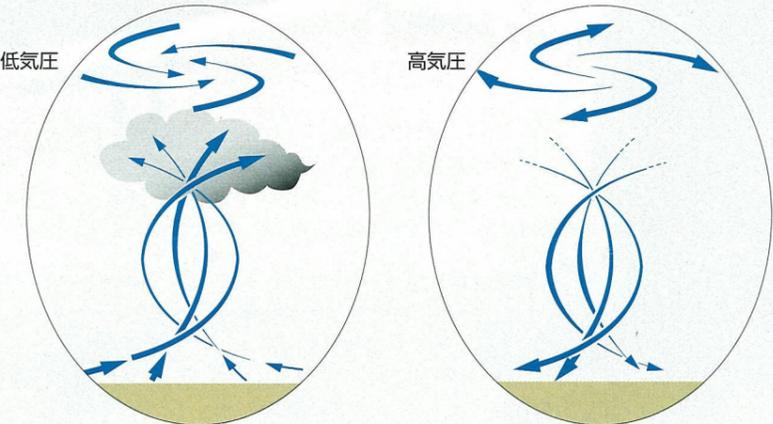
低気圧とは？

●地球をとりまく大気は、地表面を押しつけています。その力が「気圧」です。地表(海面)にかかる標準的な気圧は1013ヘクトパスカル(従来のミリバール)で、およそ1キログラムの物がおしつける力に相当します。

●気圧は、上空に行くにつれて低くなり、また、水平方向ではいつも変動しています。その変動は、ある場所の空気を上空に延びる柱に見立てると、その側面を空

気がしじゅう出入りしていることで生じます。その際、出ていく空気の方が多量に、暖かい空気が流れ込んだりすると、気圧は下がります。これが低気圧で、天気は悪くなります。

●気圧が下がると地表を押しつける力が弱くなり、海面は盛り上がり、高潮となって大きな被害を与えたりします。中心気圧の低い台風は、強い台風の条件です。



家庭の防災

風水害

日本列島は

ユーラシア大陸と太平洋

洋とにはさまれているために、海洋性と大陸性の両気団の影響により複雑でばげしい変化の気象条件のもとにあります。

それが台風や豪雨が多い理由です。とりわけ和歌山県では、昔から台風や豪雨により大きな被害を被ってきました。

山地が海にせまり、平野の少ない和歌山県では、多くの河川が急峻な勾配を形成しています。そのため急に水かさが増して洪水を起こしやすいのです。

そのうえに地形が複雑なので、地滑りや山くずれ、土石流などの災害にも注意が必要です。

被害を小さくするには、私たちはどうすればよいのでしょうか？ 風水害対策のポイントを集めてみました。

雨量

- 降った雨水が、地面にしみ込んだり、流れ去ったり、蒸発したりしないで、そのままそこにたまったときの水の深さをミリメートル単位で測定することで、そのときの雨量を表すものです。
- 1時間で20ミリの量を超えると、いろいろな被害が始めます。
- 8~15mm「やや強い雨」
雨の降る音が聞こえる。
- 15~20mm「強い雨」
水たまりができ、雨音がよく聞き取れない。
- 20~30mm「激しい雨」
どしゃ降り。小川の氾濫あり。大雨注意報が出る。
- 30~50mm「非常に激しい雨」
バケツをひっくり返したように降る。
- 50mm以上「猛烈な雨」
滝のように降る。土石流が起りやすい。

風速とは？

- 風は、空気の運動。短時間で絶えず変動しています。
- 「風速」というのは、この絶えず変動している風の、ある時刻の前の10分間の平均の速さのことです。
- しかし、絶えず変動しているため、任意のある瞬間の速さは瞬間風速としてとらえられています。
- 平均風速の最大値を「最大風速」、瞬間風速の最大値を「瞬間最大風速」と言っています。

風力 7 (強風)
風速(秒速) 13.9~17.1m
風に向かって歩きにくい
風力 8 (疾強風)
風速(秒速) 17.2~20.7m
風に向かって歩けない
風力 9 (大強風)
風速(秒速) 20.8~24.4m
煙突が折れ、瓦がはがれる
風力 10 (暴風)
風速(秒速) 24.5~28.4m
樹木は根こそぎ、人家に大損害
風力 11 (烈風)
風速(秒速) 28.5~32.6m
広い範囲の破壊(めったにない)
風力 12 (颱風)
風速(秒速) 32.7m以上

和歌山県の 防 災

記念誌「南海道地震から50年」

昭和21年12月21日、和歌山県に甚大な被害をもたらした南海道地震から50年を経た今日、薄れつつあるこの大災害の記録を後世に残し、防災意識の高揚に資するため、

内 容

記録写真編

未公開のものを含む約50点の記録写真を用い、和歌山県内の被害状況を再現

研究成果編

歴史学・物理学など各方面での第一人者の最新の研究成果を収録

体 験 談

南海道地震を体験した方々の体験談を収録

県内の図書館でごらんいただけます。

また、市町村や防災関係機関や各中学校、高等学校、大学にも配布しています。



防災航空隊の活動

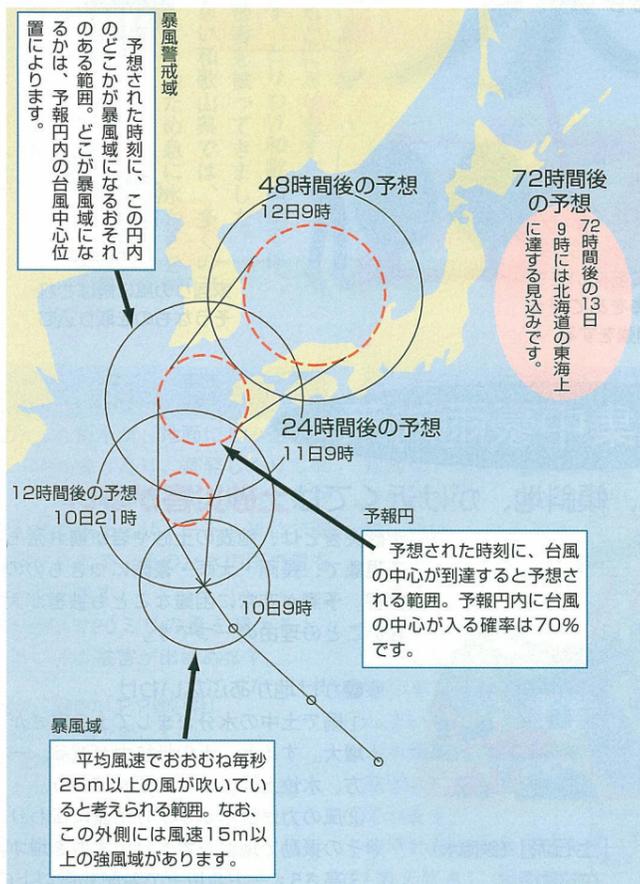
平成8年3月9日、南紀白浜空港を拠点として和歌山県防災ヘリコプター「きしゅう」が運行を開始して以来、1年と6ヶ月になります。その間の出動は山林火災消火活動7件、救急患者搬送13件、水難者救助5件のほか、香川県、大阪府での大規模山林火災や、福井県での重油流出事故など県外への応援活動も行われました。

防災航空隊は、県民の生命、身体、財産を空から保護する任務を迅速的確に遂行できるよう日々訓練を重ねています。

お知らせ

台風の進路予報が わかりました。

- 予報対象時間を48時間から72時間に延長しました。
- 72時間予報は1日4回発表されます。
(3時、9時、15時、21時)
- 台風の中心が予報円に入る確率が60%から70%に変わりました。

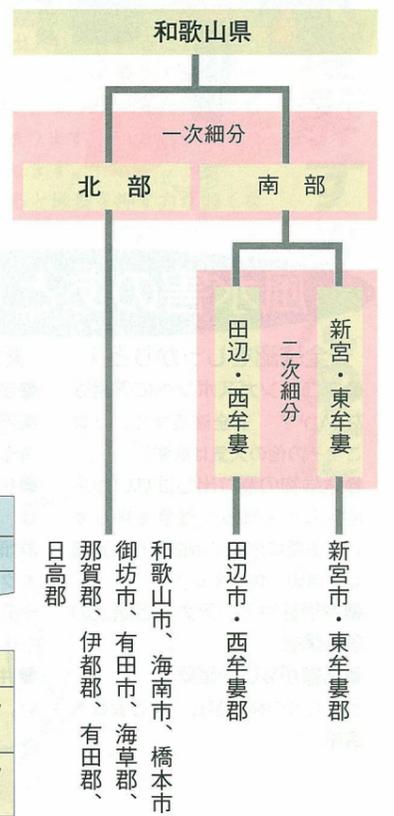


6月から和歌山県南部の注意報・警報を 細分(二次細分)発表 しています。

和歌山県に発表される注意報・警報の対象区域はこれまで「北部」「南部」(一次細分)に区分されてきました。近年の都市化の進展等による気象災害の発生形態の変化、防災関係機関における各種防災体制のより一層の高度化が図られていることから、これらに適合した注意報・警報の運用が必要になってきました。しかし、地域の区分は、気象の地域特性や災害特性に応じて行うことが適切であるという考えから、このたび大雨に伴う注意報・警報の対象区域について、可能な場合に南部を東西に分けて区域を指定した、二次細分区域、「新宮・東牟婁」と「田辺・西牟婁」を新たに設定して6月から発表することになりました。なお風と波には大きな地域差がないため、二次細分区域での発表は行いません。



予警報の細分区域



二次細分の設定により、次のようになります。

	標題(区域名と注意報・警報名)	標題の意味
旧	北部] 大雨・洪水注意報	北部の全域に対して注意報を発表
	南部] 大雨・洪水警報	南部の全域に対して警報を発表
新	北部] 大雨・洪水注意報	北部の全域に対して注意報を発表
	新宮・東牟婁] 大雨・洪水警報	南部の新宮市及び東牟婁郡に対して警報を発表
	田辺・西牟婁] 大雨・洪水注意報	南部の田辺市及び西牟婁郡に対して注意報を発表